

保護者等からの事業所評価の集計結果（2022年度）【公表】

公表：2023年3月24日

事業所名：さわらび園

保護者等数（児童数）29(30) 回収数 18 割合 62.1%

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭があれば尚良いと思う。 ・園庭はないが、散歩や外遊びは隣や近くの公園を利用している。 ・教室がもう少し広いといい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外活動については、クラスの状況に応じて、隣接するどんぐり広場の利用や歩行訓練等を引き続き取り入れていきます。 ・室内での活動スペースは、活動内容に応じて部屋の移動や広いスペースで活動するなどの工夫をしています。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	6	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ベテランの先生もいるが、療育経験の少ない若手の先生が多い。 ・先生の入れ替わりが激しいので、まだ専門性がない先生もいる。 ・最近、先生の人数が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修の実施等を通し、職員の資質向上には引き続き努めています。 ・国（市）で定められた基準以上の職員配置にはなっていますが、出張（研修）や病欠などの際は、フォローの体制を組んで行うようにしています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	16	2	0	0		子どもやクラスの状況を踏まえて、本人にわかりやすいような環境づくりを、引き続き意識していきたいと思います。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	18	0	0	0	トイレなども含めてすごく清潔にしていてくださってありがとうございます。	コロナ禍においては例年以上に、衛生面には気を配り、室内やトイレ等の水回りの掃除に加えて、遊具等、子どもの触れるものは毎日消毒を行いました。
適切な支援の提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	17	1	0	0		保護者の思いを聴きながら、日々の療育場面での子どもの姿を保護者に具体的に（療育説明、日々の記録等）伝え、それを元に計画に反映しています。
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	17	0	0	1		児童発達支援計画の作成については、園内で会議を開き、個々の子どもの支援について確認した上で計画を作成しています。支援内容については、保護者にもわかりやすいように、具体的に記載するよう心がけています。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17	1	0	0		今後も子ども個々の課題を職員で共有しながら、丁寧な支援を行っていくよう努めます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	16	1	0	1		子どもやクラスの状況によって、プログラムの内容を工夫していくと共に、その目的や意図を療育説明等で伝えていくよう努めます。
保護者への説明等	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	12	3	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ということもあるかもしれないが、お散歩に出たときにすれ違う他園の子どもや先生に挨拶する程度の交流ならばあったと思う。 ・必要なのかもしれないが、やはり定期型発達児と比べてしまって、本来の目的から離れてしまう可能性があるので、とても難しい問題だと思う。 ・健常児との交流が全くないので、同じ年の子の健常児の一般的な発達状況が分からないので小学校入学で大きなギャップを受けないか心配。 ・もしそういう機会があったら嬉しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ以前は、年度後半に近隣の保育園と交流保育を行っていました。内容としては、療育での子ども個々の状況を確認しながら、交流先の園とも相談をして、メンバーを決め、フィードバックは全園児保護者を対象にビデオでの説明を行っていました。 ・今年度もコロナ禍のため、交流することによる、お互いの園のリスクも踏まえて、やむを得ず、中止としました。今後については、再検討していきます。
	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	1	0	0		さわらび園の通園にかかることや費用等についての説明は、入園面接の際に行っています。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	17	1	0	0		<p>児童発達支援ガイドラインについては、新年度の初めに母親グループカウンセリングの中で、保護者に伝える機会を持っています。</p> <p>また、計画書の確認については、保護者に個別で確認をしていただく時間をとっています。</p>
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか。 ※さわらび園では、グループカウンセリング	17	1	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・さわらび園では、家族支援プログラムの一環として、母親グループカウンセリングを実施しています。また必要に応じて、随時、個別相談の機会も設けています。 ・父親については、春には父親参観日、秋には父親研修会を実施しました。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	14	4	0	0	・クラス人数や困り事の多さによって、担任の先生と話す機会をつくりたくても、他の保護者と話していたり、後回しにされている感覚をもった事はある。 ・なかなか先生とゆっくり話せる機会が少ないとと思う。	・保護者の方と日頃から話し合える環境づくりを改めて意識していきたいと思います。 ・子どもの状況や保護者の方からお聞きしたことなどは、職員間で共有するようにしています。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	0	0	0	発達支援計画の確認など、定期的に子どもの状況を擦り合わせる時は、是非毎日様子を見ている担任の先生にも同席して頂いて、率直な意見を言って欲しい。	クラスの職員については、特に母子療育日等の際に、子どもの姿を実際に観ながら、保護者への助言をするように努めています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	16	2	0	0	コロナ禍で実施が難しくなっている。	コロナの感染拡大状況によって制限がある中ではありましたが、様々な工夫をしていただきましたが、親の会の運営や企画にあたっていただきました。 年度後半には一部実施できた活動もありました。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されるとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	15	3	0	0		相談や申し入れがあった際には、園長・主任に報告し調整をして、必ず対応するようにしています。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達ための配慮がなされているか	16	2	0	0	お迎え時に子供が一日どのように過ごしたか具体的に聞きたいが、他児の対応に付いて聞いて聞けない時がある。	・保護者には、朝や帰りの送迎時に連絡事項等を伝えるようにしています。 ・子どもの具体的な状況については、記録等で確認していくようになっていますが、降園時の保護者の方とのコミュニケーションも引き続き意識しています。
	⑱	定期的に会報やホームページなどで、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	1	0	1		・行事予定等は各クラスに掲示をしています。 ・毎月発行している法人の機関誌の配布やホームページの開設をしています。また、自己評価結果はホームページに公表しています。
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	18	0	0	0		個人情報を使用する際は、事前に保護者に確認し、許可をいただくことを徹底しています。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか、また、発生を想定した訓練が実施されているか	17	0	1	0		防犯訓練については、職員間での確認および想定訓練を行っています。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18	0	0	0		月1回は必ず避難訓練を行っています。火災や地震等の様々な想定をした訓練をしています。
満足度	㉜	子どもは通所を楽しみにしているか	14	2	0	2	行きたくないと言うときがあり困っている。	子どもたちが安心して過ごせる場所になっていくよう、引き続きプログラムの工夫や丁寧ななかわりを意識していきたいと思います。
	㉝	事業所の支援に満足しているか	15	3	0	0	・支援内容には満足しているがもう少し外遊びなど体を動かす機会が増えると良いと思った。 ・母親の関わる部分が多く負担を感じる時がある。	・子どもやグループの状況を踏まえて、療育プログラムの工夫には引き続き努めています。 ・保護者の方の思いを聴きながら、共に子どものことを考えていきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果（2022年度）【公表】

公表日：2023年3月24日

事業所名：さわらび園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・人数や活動内容によって、パーテーションを開閉して部屋の広さを調整している。 ・子どもたちの生活の場として、経験が重なるように部屋や場所の使い方を見通しをもって使用できるようにしている。 	<p>活動内容や人数によって利用する部屋の工夫をしています。引き続き、目的や用途によって適切なスペースの利用をしていくように努めます。</p>
	②	職員の配置数は適切である	5	5	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状況によっては、配置人数に厳しさがあるが、体制の調整をしながら、子どもの状況に合わせて柔軟に対応できるように心がけている。 ・職員の休病休等が重なったとき、職員数が足りない時がある。 	<p>職員の出張や体調不良時が重なった時は、園内でフォローバック体制を組みながら対応します。また、職員配置の基準は満たしているがものの、より丁寧に支援をしていきたい現場の思いを大切にしながら、支援を行えるチーム作りをしていくよう努めます。</p>
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10	0	<ul style="list-style-type: none"> ・園児個人の物や場所が特定しやすいように、名前やマークを使用している。 ・療育室は、物の配置や視覚情報の整理に努め、活動がしやすい環境を整えている。また、壁や天井などには展示物や季節を感じる装飾を飾り、部屋の雰囲気を工夫している。 ・トイレには手すりをつけたり個室を広めに設計したりしてバリアフリー化に努めている。 ・配膳において、食品アレルギーや特性上食べられない物がある園児に対しては、該当児童のものと分かるような目印がしてある。 	<p>在籍児童の状況を踏まえながら工夫や配慮を重ねていけるよう努めます。</p>

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10	0	・登園前や降園後に、掃除や消毒をして衛生面の配慮をしている。室内の環境を毎日確認し、子どもたちが気持ちよく動けるように配慮している。 ・子どもの動線や安全を考えながら環境整備している。	
	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8	2	定期的にクラス会議や全体会議を行っている。 参加出来なかった職員に対しては、議事録を作成するなどして、伝達している。	子どもの支援については個別支援会議で目標設定を行い、実際の支援を進めていく中で、振り返る機会を持ちながら行っています。 今年度はクラス会議として振り返りの会議も行いましたが、職員全体で取り組むために、話し合ったり情報共有する場を引き続き設けていくと共に、職員自身も情報共有を意識していくことに努めます。
業務改善	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施すると共に、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10	0	自己評価及び保護者からの事業所評価を実施している。 結果については、職員間で周知し、改善に向けての話し合いの機会をもっている。	
	⑦	事業所向け評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10	0	公表については、園内で印刷物を閲覧できるようにし、ホームページでの公開を行っている。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	2	現時点では、第三者評価は行っていない。	第三者による外部評価は、今後の検討課題としています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	0	園内の研修だけでなく、外部の研修にも経験に合わせて参加する機会がある	次年度も引き続き、内部研修の実施や外部の研修（オンライン含む）に職員が参加できる機会を設けていきたいと思います。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10	0	日々の記録を元に、子どもの姿を振り返り、計画を作成している。また、家庭での様子や保護者の思いを聞き取ると共に、会議での職員の様々な視点を踏まえて、計画に反映している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	1	自閉症スペクトラム児のための対応マニュアルを職員に配布している。	・発達検査での子どもの発達状況を個別支援会議などの際に、意識的に職員で共有するように努めています。 ・左記のツール等を一人ひとりの子どもに合わせて活用していくように職員間の共有に努めます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10	0	・より具体的な項目を記載し、個々の状況を踏まえて、支援計画を作成している。 ・広い視点で子どもを捉えて支援内容に繋げていけるようにしている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	10	0	子どもの状況をみながら、目標や支援内容を日々確認することを意識しながら、よりよい支援につなげている。	引き続き、計画を意識して、日々の支援を行うように努めていきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	0	短時間でも話をする時間をもち一人ひとりが自分の考えを出し合っていけるようにしている。	クラスチーフや各グループの担任が主となり、活動プログラムを立てています。それを職員間で共有する工夫をしていくことに努めます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10	0	職員間で意見を出し合ったり、役割を交代しながら、活動を組み立てるようにしている。	子どもやクラスの集団状況を踏まえて、あえて固定している部分もあれば、柔軟にプログラムを組み立てている部分もあります。 引き続き、子どもやクラスの状況に応じた活動プログラムを意識して組み立てていきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	10	0	集団個人プレイなど、小集団の中で個別対応を意識した活動を行っている。	子ども個々の発達状況を細かく把握するために、活動内容にさらなる工夫をしていきます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	2	・クラス間で、行うようにしている。 ・行事前などは担当職員や全体での打ち合わせを行っている。	基本的には行っているが、時折行えない日もあるため、時間をうまく調整する工夫をしていきます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	(18)	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	5	5	クラス間での振り返りや、行事後や終業式などの節目の時には、担当者での振り返りを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> 個々の事務仕事や行事等の準備の状況によっては、しっかりと支援の振り返りができない時があるため、子どものその日の姿を話す機会を、出来る限り意識してもらおうとしています。 業務の整理や、職員の業務分掌などを見直し、職員間で話をする時間がもちやすくなるよう改善に努めます。
	(19)	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	1	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人ひとりの日々の記録を書くことで、子どもの姿を確認するとともに、支援の見直しをするようにしている。 クラスの毎日の活動計画を立てて、同じ用紙に子どもの姿を記入できるようにして振り返る環境を作っている。 	
	(20)	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10	0	<ul style="list-style-type: none"> 新入園は3ヶ月でモニタリングを行い、それ以降は進級児も含めて半年ごとに計画の見直しをしている。 	
関係機関や保護者との連携	(21)	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10	0	園内での個別支援会議に相談支援専門員の参加を依頼している。	
	(22)	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	10	0	必要に応じて、保健センター等の関係機関と連携をとっている。	
	(23)	※医療ケア児				
	(24)	※医療ケア児				
(25)	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	0	<ul style="list-style-type: none"> 移行にあたって、保護者に同意を得た上で、児童の記録を移行先に提出している。 移行後はアフターケアとして移行先を訪問し、子どもの状況を確認するようにしている。 	今年度のアフターケアの訪問について、新型コロナウイルスの感染防止に留意しながら、訪問先と調整をして行いました。	
	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	0	保護者の同意を得た上で、児童記録の提出による情報共有や、就学後は訪問によるアフターケアを行っている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	(27)	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	1	定期的に、また必要に応じて、地域療育センターと情報共有の機会をもつなど、連携をはかっている。	
	(28)	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	6	コロナ禍のため、実施できていない。	昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策等の観点から、実施ができませんでした。 次年度は、交流先と調整しながら、再開を検討していきたいと思います。
	(29)	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	9	1	担当職員が参加している。	協議会に参加していない職員にも、活動内容や情報の周知を図る工夫をしていきます。
	(30)	日頃から子どもの状況を保育者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	0	日々の振り返りや記録での確認をし、会議時には子どもの課題や支援について話し合う機会を持っている。	保護者の受け止めの状況を見ながら、丁寧に子どもの状況を伝えることに努めています。
	(31)	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	10	0	週に1回、母親グループカウンセリングを行っている。	例年は、月1回、外部講師を招いての研修会を行っているが、今年度は年度末に年長児母親のみを対象に実施しました。 次年度は情勢をみながら再開したいと思います。
保護者への説明責任等	(32)	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	0	契約時の入園面接で行っている。	
	(33)	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	10	0	計画作成時とモニタリング時に個別での説明を行い、同意を得ている。	
	(34)	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	0	母親グループカウンセリングと個別相談の中で対応している。	
	(35)	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	10	0	保護者会総会への出席と、保護者会役員からの相談にのるなどの支援を行っている。	今年度は、コロナの状況をみながら、時間や内容等を工夫した保護者会活動を行うことができました。次年度につながる動きができたかと思います。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	(36)	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0	保護者からの相談等があった場合は、速やかに対応することを心がけている。 クラスの担任に申し出があった場合には主任を通して個別相談等につないでいる。	
	(37)	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	0	行事予定等はクラスへの掲示や配布物等での対応をとっている。	
	(38)	個人情報の取り扱いに十分注意している	10	0	職員への周知徹底を図っている。	
	(39)	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0	外国籍の保護者に対しては、平易な表現やひらがな、英訳した文書を使用して、よりわかりやすい伝達に努めている。	
	(40)	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っている	8	2	・コロナ禍のため、地域住民に向けた行事は見合わせた。 ・町内会への部屋貸しは申し出により、行った。	昨年度に引き続き、地域に向けた行事は中止しましたが、次年度はコロナの状況を踏まえて判断していくたいと思います。
非常時の対応	(41)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	1	防犯訓練を年1回、行っている。	必要なマニュアルについては、見直しと整備をしていくよう努めます。
	(42)	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0	月1回、避難訓練を行い、職員での振り返りの時間を持つようにしている。	
	(43)	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	10	0	・保護者からの聞き取りを行い、記録に残している。 ・保護者からの申し出により、必要な場合は薬を預かって対応している。	
	(44)	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	0	・該当の児童については、保護者にアレルギー対応表を提出してもらい、それに基づいて食事提供をしている。	食事提供時は、厨房職員と連携し、特別食の有無についても確認した上で本人に提供を行っています。引き続き丁寧な確認を行いながら対応していきます。
	(45)	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	0	その都度、報告書を作成し、閲覧可能な状況にしている。内容によっては、振り返りの時間を持つようにしている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時の対応	(46)	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	虐待防止や権利擁護等、様々な研修の機会を法人及び園内で行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会での内容を職員に周知し、職員への研修や意識付けを図る機会を引き続き設けていきます。
	(47)	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載している	9	1	身体拘束の記録については、様式を整備し、職員への周知を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者には、契約時に権利擁護についての説明を行っています。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。